

静岡県薬第 662 号

令和 6 年 12 月 5 日

各地域薬剤師会会長 様

公益社団法人静岡県薬剤師会

会長 岡 田 国 一

「薬剤師臨床研修に関するアンケート調査」へのご協力をお願い(周知依頼)

標題の件について、日本薬剤師会から別添写（令和 6 年 12 月 4 日付け日薬業発第 320 号）
のとおり通知がありました。

つきましては、貴会会員へのご周知方よろしくお願い申し上げます。

担当：静岡県薬剤師会事務局業務スタッフ；伊藤

電話：054-203-2023 ／ FAX：054-203-2028

E-mail：itou@shizuyaku.or.jp



日薬業発第 320 号
令和 6 年 12 月 4 日

都道府県薬剤師会担当役員 殿

日 本 薬 剤 師 会
副会長 荻野 構一

「薬剤師臨床研修に関するアンケート調査」へのご協力をお願い（周知依頼）

平素より、本会業務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

薬剤師臨床研修については、令和 6 年 3 月に厚生労働省より「薬剤師臨床研修ガイドライン」が公表されており、令和 6 年度厚生労働省医薬局総務課補助事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」（委託事業者：NTT データ経営研究所）において、薬剤師臨床研修体制の整備などについて検討が進められております。

今般、同調査検討事業において、薬剤師臨床研修を提供する施設（協力施設を含む）において、必要となる費用や人的負担に係る情報など、適切な体制整備に必要となる情報を詳細に把握することを目的とし、添付の通り、薬局・病院薬剤部を対象として、調査を実施することとなりました。

つきましては、都道府県薬剤師会におかれましては貴会会員に本調査につきましてご周知をいただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



令和6年11月25日

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 岩月 進 殿

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

令和6年度厚生労働省医薬局総務課補助事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」
「薬剤師臨床研修に関するアンケート調査」へのご協力をお願い

拝啓 時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

弊社 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所では、令和6年度厚生労働省医薬局総務課補助事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」を実施いたしております。本事業では、令和6年3月に厚生労働省が策定した「薬剤師臨床研修ガイドライン」(<https://www.mhlw.go.jp/content/001234125.pdf>)に基づき今後薬剤師臨床研修を提供する施設（協力施設を含む）において、必要となる費用や人的負担に係る情報など、適切な体制整備に必要となる情報を詳細に把握することを目的として、令和3～5年度「卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」モデル事業への参加施設、薬剤師レジデント教育の実施・協力施設、上記以外の新人薬剤師研修を実施している施設、実施していない施設を対象としてアンケート調査を行うこととなりました。

貴会のホームページやメール配信等を通して、会員の皆様にご周知いただき、対象施設の方ご自身で、回答者様用の URL あるいは QR コードからウェブアンケートに令和6年12月20日まで調査へのご回答を賜りたく、会員の皆様へご案内を賜りますようお願い申し上げます。

調査の進め方については、別添の回答者様用依頼状をご欄ください。またご不明の点がございましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

敬具

【お問い合わせ先】

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
「薬剤師臨床研修に関するアンケート調査」事務局

メールアドレス : rinsyou2024@nttdata-strategy.com

電話番号 : 03-5213-4232 (平日 10:00～17:00)

※お電話でのお問い合わせは、お問い合わせを受け付けた後、回答までに時間を要する場合がございますので、お差支えが無いようでしたらメールによるお問い合わせを優先いただけますと幸いです。

以上

令和6年11月25日

施設の薬剤部門の長、及び薬剤師教育責任者等

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

令和6年度厚生労働省医薬局総務課補助事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」
「薬剤師臨床研修に関するアンケート調査」へのご協力のお願い

拝啓 時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

弊社 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所では、令和6年度厚生労働省医薬局総務課補助事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」を実施いたしております。本事業では、令和6年3月に厚生労働省が策定した「薬剤師臨床研修ガイドライン」(<https://www.mhlw.go.jp/content/001234125.pdf>)に基づき今後薬剤師臨床研修を提供する施設（協力施設を含む）において、必要となる費用や人的負担に係る情報など、適切な体制整備に必要となる情報を詳細に把握することを目的として、令和3～5年度「卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」モデル事業への参加施設、薬剤師レジデント教育の実施・協力施設、上記以外の新人薬剤師研修を実施している施設、新人薬剤師研修を実施していない施設を対象としてアンケート調査を行うこととなりました。

つきましては、調査の主旨をご理解いただき、**令和6年12月20日（金）まで**に調査へのご回答を賜りたく、何卒お願いを申し上げます。

調査の進め方については、裏面の調査要項をご欄ください。またご不明の点がございましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

敬具

【お問い合わせ先】

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
「薬剤師臨床研修に関するアンケート調査」事務局

メールアドレス : rinsyou2024@nttdata-strategy.com

電話番号 : 03-5213-4232（平日 10:00～17:00）

※お電話でのお問い合わせは、お問い合わせを受け付けた後、回答までに時間を要する場合がございますので、お差支えが無いようでしたらメールによるお問い合わせを優先いただけますと幸いです。

調査要項

1. アンケート調査の概要

- ✓ 調査方法：ウェブ回答形式
- ✓ 実施期間：令和6年11月25日（月）～12月20日（金）を予定
- ✓ 実施回数：1回
- ✓ 1回あたりの所要時間：30分程度

2. アンケート調査のご回答者

当該の下記施設の薬剤部門の長、及び薬剤師教育責任者等の方にご回答いただきますようお願いいたします。

- ① 令和3～5年度「卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」モデル事業の実施・協力施設
- ② 薬剤師レジデント教育の実施・協力施設
- ③ 上記以外の新人薬剤師研修を実施している施設
- ④ 新人薬剤師研修を実施していない施設

3. アンケート調査に関するウェブサイト

アンケート調査をお進めいただくため、インターネットのURLの欄に以下のURLを記入していただき、本アンケート調査用のウェブサイトへアクセスしてください。

<https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/news/rinsyo2024/>



スマートフォンからの
回答はこちら

表示された画面に、アンケート調査の概要とアンケート調査画面のURLを掲載していますので、画面の指示に従いウェブアンケート調査をお進めください。

4. 回答期限

令和6年12月20日（金）までにご回答をお願いいたします。

以上

令和6年度厚生労働省医薬局総務課補助事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」
「薬剤師臨床研修施設の受入体制の整備に向けた調査」

本調査は令和6年度厚生労働省医薬局総務課補助事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」の一環として、「薬剤師への研修を実施している施設での研修等の実態を把握すること」、「臨床研修（モデル事業）による薬剤師の育成効果を把握すること」を目的としています。

卒後1-3年程度の薬剤師の現状について、モデル事業協力薬局、レジデント制度協力薬局、その他の新人薬剤師研修を実施している薬局、新人研修を実施していない薬局を調査対象として、薬局長、及び薬剤師教育責任者等にお答えいただくアンケート調査を行うことといたしました。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしくお願いいたします。

特に断りのない限り、令和6年11月1日時点の状況をお答えください。

本調査における用語説明

- 臨床研修：
令和6年3月に厚生労働省より公開された「薬剤師臨床研修ガイドライン」に基づいた薬剤師の卒後研修であり、ジェネラリストの育成を目的とする。
- モデル事業：
薬剤師臨床研修ガイドラインの作成に向けて、厚生労働省「令和3～5年度卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」において実施されたモデル事業。モデル事業に協力した薬局をモデル事業協力薬局と定義する。
- レジデント制度：
日本薬剤師レジデント制度研究会が取りまとめている制度で、高度医療に対応した臨床薬剤業務並びにチーム医療を実現できる薬剤師の育成を目的とした1～2年のプログラム。レジデント制度に協力している薬局をレジデント制度協力薬局と定義する。
- 研修：
自薬局及びグループ薬局で実施している薬剤師向けの研修全般を指す。また、研修を受ける薬剤師を研修員と呼ぶ。
- 常勤/非常勤：
本調査では、「常勤」とは雇用形態に関わらず貴局で定めた1週間の勤務時間（所定労働時間）に勤務している方、「非常勤」とは上記以外の方とする。

I. 基本情報についてお尋ねします

<p>問1 貴局が該当するものを全てお選びください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】 【その他の新人研修を実施していない薬局】 ※新人研修とは新人薬剤師の教育研修であり、薬剤師業務の一般的かつ基礎的な知識を網羅的に身に付ける目的のものを指す。</p>
<p>1. モデル事業協力薬局 2. レジデント制度協力薬局 3. その他の新人研修を実施している薬局 4. 新人研修を実施していない薬局</p>
<p>問2 貴局の名称をお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】</p>
<p>貴局名（ ）</p>
<p>問3 貴局の所在地（都道府県）をお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】</p>
<p>所在地（ ）</p>
<p>問4 貴方の役職をお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施し</p>

ていない薬局】
役職（ ）
問5 貴方もしくは貴局のメールアドレスをお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
メールアドレス（ ）
問6 令和6年11月1か月間の応需処方箋枚数をお答えください。（数値記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
（ ）枚
問7 貴局の事業形態をお答えください。（単一回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
1. 株式会社 2. 有限会社 3. 公益・一般社団法人・財団法人 4. 個人 5. その他（ ）
問8 同一開設主体による薬局店舗数をお答えください。（数値記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
（ ）店舗
問9 貴局の営業形態をお答えください（単一回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
1. 薬局のみ 2. 薬局と店舗販売業の併設 3. その他（ ）
問10 貴局及び貴局の管理薬剤師が加入している団体をお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
1. 日本薬剤師会 2. 日本保険薬局協会 3. 日本チェーンドラッグストア協会 4. いずれも未加入
問11 認定等の状況をお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
1. 地域連携薬局 2. 専門医療機関連携薬局 3. 健康サポート薬局 4. いずれにも該当しない
問12 貴局に在籍する薬剤師の各認定の取得状況をお答えください。（数値記入、自由記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
1. 認定薬剤師（日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、日本薬剤師会 JPALS 認定薬剤師、CPC 認証の認定薬剤師など）（ ）名 2. 実務実習指導薬剤師（ ）名 3. 学会等の認定による認定薬剤師・専門薬剤師・指導薬剤師 認定制度名①：（ ）：（ ）名認定制度名②：（ ）：（ ）名 認定制度名③：（ ）：（ ）名 その他：（ ）：（ ）名、（ ）：（ ）名 4.
問13 貴局の薬剤師の定員・薬剤師数（令和6年11月1日時点）を常勤・非常勤別にお答えください。（数値記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】【その他の新人研修を実施していない薬局】
常勤薬剤師の定員（ ）名 非常勤薬剤師の定員（ ）名 常勤（ ）名 非常勤（ ）名
問14 貴局では「新人研修」を実施していますか。（単一回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 実施している 2. 実施していない

<p>問15 (上記で「はい」とお答えの場合、お答えください) 貴局での「新人研修」の内容をお答えください。(複数回答) 【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】</p>
<p>1. 新卒者、既就労者で同一のプログラムを実施 2. 新卒者、既就労者で別のプログラムを実施 3. 新卒者、既就労者で同一の実地研修(OJT)を実施(プログラムは未策定) 4. 新卒者、既就労者で別の実地研修(OJT)を実施(プログラムは未策定) 5. その他()</p>
<p>問16 新人研修を実施していない理由として該当する事項を全てお答えください。【その他の新人研修を実施していない薬局】</p>
<p>1. 入局する新人薬剤師数が少ないため 2. 毎年新人薬剤師が入局しないため 3. 新人薬剤師を指導する薬剤師がいないため 4. 新人研修を体系的に行わなくても育成できるため 5. 新人研修を実施する人的な余裕がないため 6. その他()</p>

Ⅱ. 研修目的・ゴールについてお尋ねします

<p>問17 貴局の薬剤師に病院や他の薬局での研修を受講させることを想定した場合に、研修目的として考えられる事項をお答えください。(複数回答) ※令和3年～5年の卒後臨床研修のモデル事業や、薬剤師臨床研修ガイドラインの内容によらずお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】</p>
<p>1. 病院・薬局に共通する基礎的な知識・スキルを身に付けること 2. 貴局では経験できない知識・スキルを病院や他の薬局で身に付けること 3. 特定の病院でしか身に付けることができない医療の専門領域に関わる知識・スキルを病院で身に付けること 4. 病院との連携を深めること 5. 他の薬局との連携を深めること 6. 地域医療の課題の解決に向けた連携強化 7. その他()</p>

Ⅲ. 指導者の確保・育成についてお尋ねします

<p>問18 令和3年～5年のモデル事業(対象に応じて変更 レジデント制度、その他の新人研修)において単年で受けた研修員は最大何名ですか。(数値記入)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】</p>
<p>() 名</p>
<p>問19 上記人数の研修員を受け入れるために要した現場の指導する薬剤師数は何名ですか。正確な数字が分からない場合、概数をお答えください。全員の場合は数字の後に全員とご記入ください。 ※指導する薬剤師とは一時的に薬の説明や作業手順の指導を行った薬剤師ではなく、研修の全体像または研修で学ぶべきカリキュラムを理解しており、研修指導を担当する薬剤師を指す。(数値記入)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】</p>
<p>() 名</p>
<p>問20 貴局での研修で、同時期に受け入れられる研修員は最大何名ですか。卒前の実務実習生を受け入れている場合、通常受け入れている卒前の実務実習生の人数を除いてお答えください。正確な数字が分からない場合、概数をお答えください。(数値記入)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】</p>
<p>() 名</p>
<p>問21 貴局では指導する薬剤師の人員は充足しているとお考えですか。(単一回答)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】</p>
<p>1. 十分足りている 2. どちらかというと足りている 3. どちらともいえない 4. どちらかというと不足している 5. かなり不足している</p>

Ⅳ. 臨床研修の期間についてお尋ねします

問22 薬剤師臨床研修ガイドラインでは研修期間を1年以上としています（オリエンテーションから病棟業務、在宅訪問までの期間）。実際に薬剤師臨床研修を実施するために必要とお考えの期間をお答えください。（数値記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
（ ）か月

Ⅴ. 臨床研修の受講時期についてお尋ねします

問23 薬剤師臨床研修ガイドラインに基づく薬剤師臨床研修の受講時期について、貴局が研修を提供する観点から、卒後何年目の薬剤師が受講することが最も適切だとお考えですか。例えば、卒業して入局した年次に受講することが最も適切とお考えの場合、1年目とお答えください。研修が不要と考える場合、0年目とお答えください。（数値記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 就職先が決まっていない卒直後の薬剤師に対して：卒後（ ）年目 2. 病院薬剤師に対して：卒後（ ）年目 3. 薬局薬剤師に対して：卒後（ ）年目
問24 薬剤師臨床研修ガイドラインに基づく薬剤師臨床研修の受講時期について、貴局の薬剤師に他の病院や薬局での研修を受講させる観点から、卒後何年目の薬剤師が受講することが最も適切だとお考えですか。例えば、卒業して入局した年次に受講することが最も適切とお考えの場合、1年目とお答えください。研修が不要と考える場合、0年目とお答えください。（数値記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 病院での研修を受講させる場合（病院・薬局に共通する基礎的な知識・スキルを身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目 2. 病院での研修を受講させる場合（貴局では経験できない知識・スキルを病院で身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目 3. 病院での研修を受講させる場合（特定の病院でしか身に付けることができない医療の専門領域に関わる知識・スキルを病院で身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目 4. 他の薬局での研修を受講させる場合（病院・薬局に共通する基礎的な知識・スキルを身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目 5. 他の薬局での研修を受講させる場合（貴局では経験できない知識・スキルを他の薬局で身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目
問25 医療人としての心構えや薬剤師としてのプロフェッショナリズムの醸成には、どのタイミングで臨床研修を実施するのが適切であるとお考えですか。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 卒前 2. 卒後就職前（就職先への配属前に臨床研修期間を設けて実施） 3. 卒後就職後（就職後に就職先の基礎研修期間中に臨床研修を実施） 4. 卒後就職後数年後（就職先で1通りの業務ができるようになってから臨床研修を実施） 5. 臨床研修を実施する必要はない 6. その他（ ）

Ⅵ. モデル事業における評価項目についてお尋ねします

問26 モデル事業として行われた臨床研修の評価において、＜研修環境＞について問題であると思う事項を全てお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】
1. 臨床研修受講状況や到達度を指導薬剤師間で共有するツールがない 2. 臨床研修の評価項目を全て満たすことは、症例数が少ないという理由から達成が難しい 3. その他（ ） 4. 問題と感じた事項はない
問27 モデル事業として行われた臨床研修の評価において、＜評価内容＞について問題であると思う事項を全てお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】
1. 評価項目が重複している 2. 評価項目数が多いため、評価に時間を要する 3. 連携施設での臨床研修を評価する項目がない 4. 評価項目が不明確であり、指導者によって評価が異なる 5. 指導者が一人ではないため、業務ごとに評価項目が必要である 6. その他（ ） 7. 問題と感じた事項はない

Ⅶ. 研修員の処遇についてお尋ねします

問28 他施設（病院・薬局）からの研修員の雇用形態をお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 常勤職員 2. 非常勤職員 3. 研修施設への在籍出向 4. 研修施設への転籍 5. その他（ ）
問29 他施設（病院・薬局）への研修員の雇用形態をお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 常勤職員 2. 非常勤職員 3. 研修施設への在籍出向 4. 研修施設への転籍 5. その他（ ）
問30 他施設（病院・薬局）からの研修員の賠償責任保険についてお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 貴局の賠償責任保険に加入してもらう 2. 職能団体等が提供している賠償責任保険に個人として加入してもらう 3. 研修員に任せている 4. その他（ ）
問31 貴局が他施設（病院・薬局）からジェネラリストを養成する目的で研修員を受け入れる際、立場を貴局の職員とする必要性を感じますか。（単一回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない
問32 （上記で「はい」とお答えの場合、お答えください）貴局の職員とする場合、研修員の立場としてふさわしいとお考えの立場をお答えください。（単一回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 常勤職員 2. 非常勤職員 3. その他（ ）
問33 上記の研修員の立場を必要とする理由をお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
自由記入：

Ⅷ. 研修の費用・人的負担についてお尋ねします

問34 貴局にて実施している研修において、研修員に支払っている費用を全てお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 給与 2. 交通費 3. 福利厚生費 4. 医療保険料 5. 労災保険料 6. その他（ ）
問35 研修員の給与は誰が支払うことが望ましいと思いますか。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 研修依頼施設 2. 研修提供施設 3. 研修員自身（研修員への給与は不要） 4. 国や地方公共団体 5. 職能団体 6. その他（ ） 7. 場合により異なる

問36 研修の給与水準として望ましいと思う事項をお答えください。(単一回答)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 常勤職員と同水準 2. 非常勤職員と同水準 3. 常勤職員・非常勤職員よりも低水準 4. その他 ()
問37 貴局で外部から研修員を受け入れる場合の研修費用の規定・取り決めの有無について、お答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. ある 2. ない
問38 (問36で「ある」とお答えの場合、お答えください) 貴局で外部から研修員を受け入れる場合の規定・取り決めに基づく研修費用の金額について、1か月間の研修員を受け入れる場合を想定してお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
() 円
問39 研修を行わない場合と比較して、研修を行う場合における貴局の職員の人的負担がどのように異なるのかをお答えください。(単一回答)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 研修員に実務を任せられるため、人的負担が減少する 2. 研修を行わない場合と行う場合で人的負担はほぼ同様である 3. 人的負担が25%程度増加する 4. 人的負担が50%程度増加する 5. 人的負担が75%程度増加する 6. 人的負担が約2倍になる 7. 上記以上の人的負担となる 8. その他 ()

IX. 研修を実施した際の課題についてお尋ねします

問40 令和3年～5年のモデル事業で＜研修施設・研修体制＞の課題であると感じた事項を全てお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】
1. 多職種が指導を行う体制がない 2. 多職種参加による委員会(NST:栄養サポートチームなど)、あるいはそれに代わる機会がない 3. 研修薬局が専門科病院の近隣にある薬局の場合、全般的な症例に触れる機会が少ない 4. 地域での多職種連携会議の機会がない 5. 要指導医薬品・一般用医薬品の販売事例がなかった 6. 健康相談に応じる機会がなかった 7. その他 () 8. 問題と感じた事項はない
問41 令和3年～5年のモデル事業で＜情報伝達・施設間連携＞の課題であると感じた事項全てをお答えください。(複数回答)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】
1. 臨床研修の到達目標やそれに向けた研修内容が指導者間で認識統一できていない 2. 臨床研修前に研修先施設と研修の重点項目の認識統一ができていない 3. ジェネラリストを育成するためには、総合病院等と連携した多病院との交流研修が必要であるができていない 4. その他 () 5. 問題と感じた事項はない

X. 研修方法等についてお尋ねします

問42 研修方法として、一部オンラインで実施する研修はありますか。(単一回答)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. はい 2. いいえ 3. どちらとも言えない
問43 上記で「はい」を選択の方で、オンラインで実施する研修内容を具体的にお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
自由記入：

問44 協力機関に依頼する研修内容の基準をお答えください。(単一回答)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 協力機関(薬局を含む)に依頼する研修はない 2. 貴局では経験できない研修 3. 貴局でも経験できるものの、より専門的・先進的な研修 4. 貴局以外の業務を経験するための研修 5. その他()

XI. 臨床研修の今後の方針等についてお尋ねします

問45 薬剤師臨床研修ガイドラインに準拠した研修を実施している又は実施予定がありますか。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 実施している 2. 実施していないが実施予定がある 3. 実施予定がない
問46 上記で「1. 実施している」又は「2. 実施していないが実施予定がある」を選択の方で、本事業の調査研究の参考にさせていただくため、研修プログラム等の資料を提供いただけますか。ご提供いただける場合、「rinsyou2024@nttdata-strategy.com」(本事業の事務局メールアドレス)まで資料のファイルを添付の上、ご提供をお願いします。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. はい 2. いいえ
問47 薬剤師臨床研修ガイドラインを用いた臨床研修全体についてご意見がございましたらお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
自由記入：

XII. 臨床研修の普及や効果についてお尋ねします

令和3～5年の各年度に入局した薬剤師についてお答えください。

問48 令和3年度から令和5年度のうち、各年度に入局した薬剤師が入局初年度にモデル事業に参加した年度を全てお答えください。(複数回答)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 令和3年度 2. 令和4年度 3. 令和5年度
問49 令和3年度に入局した薬剤師について、入局初年度にモデル事業の研修(以下の設問文や選択肢における「当該研修」も同じ意味とお考えください)を受けた薬剤師数、入局後現在に至るまで当該研修を一度も受けたことがない薬剤師数、またそれぞれの博士号取得済み薬剤師数をお答えください。(数値入力)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
令和3年度の入局薬剤師数()名 うち、博士号取得済み薬剤師数()名 うち、令和3年度に当該研修を受けた薬剤師数()名 うち、博士号取得済み薬剤師数()名 うち、入局後現在に至るまで当該研修を一度も受けなかった薬剤師数()名 うち、博士号取得済み薬剤師数()名
問50 令和4年度に入局した薬剤師について、入局初年度にモデル事業の研修(以下の設問文や選択肢における「当該研修」も同じ意味とお考えください)を受けた薬剤師数、入局後現在に至るまで当該研修を一度も受けたことがない薬剤師数、またそれぞれの博士号取得済み薬剤師数をお答えください。(数値記入)【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
令和4年度の入局薬剤師数()名 うち、博士号取得済み薬剤師数()名 うち、令和4年度に当該研修を受けた薬剤師数()名 うち、博士号取得済み薬剤師数()名

うち、入局後現在に至るまで当該研修を一度も受けなかった薬剤師数（ ）名 うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名
問51 令和5年度に入局した薬剤師について、入局初年度にモデル事業の研修（以下の設問文や選択肢における「当該研修」も同じ意味とお考えください）を受けた薬剤師数、入局後現在に至るまで当該研修を一度も受けたことがない薬剤師数、またそれぞれの博士号取得済み薬剤師数をお答えください。（数値記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
令和5年度の入局薬剤師数（ ）名 うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名 うち、令和5年度に当該研修を受けた薬剤師数（ ）名 うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名 うち、入局後現在に至るまで当該研修を一度も受けなかった薬剤師数（ ）名 うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名
問52 令和6年度に入局した薬剤師について、入局初年度にモデル事業の研修（以下の設問文や選択肢における「当該研修」も同じ意味とお考えください）を受けた薬剤師数、入局後現在に至るまで当該研修を一度も受けたことがない薬剤師数、またそれぞれの博士号取得済み薬剤師数をお答えください。（数値記入）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
令和6年度の入局薬剤師数（ ）名 うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名 うち、令和6年度に当該研修を受けた、もしくは受けている薬剤師数（ ）名 うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名 うち、入局後現在に至るまで当該研修を一度も受けなかった薬剤師数（ ）名 うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名
問53 <u>入局者がいる年度において卒後臨床研修を行うか否か</u> について、入局者がいたか否かに関わらず、令和5年度、令和6年度、令和7年度における貴院の方針を選択肢からお選びください。（単一回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 令和5年度（ ） 2. 令和6年度（ ） 3. 令和7年度（ ） 【選択肢】 1. 研修を行う 2. 研修を行わない
問54 令和6～7年度に初めて研修を行う場合にその理由をお答えください。（複数回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. 薬剤師臨床研修ガイドラインが発出されたため 2. 薬剤業務向上加算を取得するため 3. 研修が必要だと判断したため 4. その他（ ） 5. 令和5年度からすでに研修を行っている
問55 モデル事業に参加した薬剤師について、当該研修の参加前後における意欲や能力の変化としてお感じになられたこと をお答えください。定量的な指標でお示しいただける変化がございましたら、定量的な変化を含めてご回答いただけます と幸いです。（自由記述）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
自由記入：
問56 患者への貢献に対するアウトカムを定量的に示すことは可能であると思いますか。（単一回答）【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
1. はい 2. いいえ 3. どちらとも言えない
問57 上記で「はい」を選択の方で、具体的な指標があればお答えください。【モデル事業協力薬局】【レジデント制度協力薬局】【その他】
自由記入：
問58 令和3年～5年のモデル事業で負担となったことをお答えください。【モデル事業協力薬局】
自由記入：

XIII. その他についてお尋ねします。

問59 貴局で十分な指導が行えなかったと思うカリキュラムや業務項目についてお答えください。【モデル事業協力薬局】

自由記入：

令和 6 年度厚生労働省医薬局総務課補助事業 「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」

「薬剤師臨床研修施設の受入体制の整備に向けた調査」

本調査は令和 6 年度厚生労働省医薬局総務課補助事業 「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」の一環として、「薬剤師への研修を実施している施設での研修等の実態を把握すること」、「臨床研修（モデル事業）による薬剤師の育成効果を把握すること」を目的としています。

卒後 1-3 年程度の薬剤師の現状について、モデル事業参加病院、レジデント制度実施病院、その他の新人薬剤師研修を実施している病院、新人研修を実施していない病院を調査対象として、薬剤部門の長、及び薬剤師教育責任者等にお答えいただくアンケート調査を行うことといたしました。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしくお願いいたします。

特に断りのない限り、令和 6 年 11 月 1 日時点の状況をお答えください。

本調査における用語説明

- 臨床研修：
令和 6 年 3 月に厚生労働省より公開された「薬剤師臨床研修ガイドライン」に基づいた薬剤師の卒後研修であり、ジェネラリストの育成を目的とする。
- モデル事業：
薬剤師臨床研修ガイドラインの作成に向けて、厚生労働省「令和 3～5 年度卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」において実施されたモデル事業。モデル事業に参加した病院をモデル事業参加病院と定義する。
- レジデント制度：
日本薬剤師レジデント制度研究会が取りまとめている制度で、高度医療に対応した臨床薬剤業務並びにチーム医療を実現できる薬剤師の育成を目的とした 1～2 年のプログラム。レジデント制度を実施している病院をレジデント制度実施病院と定義する。
- 研修：
自病院及びグループ病院等で実施している薬剤師向けの研修全般を指す。また、研修を受ける薬剤師を研修員と呼ぶ。
- 常勤/非常勤：
本調査では、「常勤」とは雇用形態に関わらず貴院で定めた 1 週間の勤務時間（所定労働時間）に勤務している方、「非常勤」とは上記以外の方とする。

I. 基本情報についてお尋ねします

<p>問 1 貴院が該当するものを全てお選びください。（複数回答）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】 【その他の新人研修を実施していない病院】</p> <p>※新人研修とは新人薬剤師の教育研修であり、薬剤師業務の一般的かつ基礎的な知識を網羅的に身に付ける目的のものを指す。</p>
<p>1. モデル事業参加病院</p> <p>2. レジデント制度実施病院</p> <p>3. その他の新人研修を実施している病院</p> <p>4. 新人研修を実施していない病院</p>
<p>問 2 貴院の名称をお答えください。【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】【その他の新人研修を実施していない病院】</p>
<p>貴院名（ ）</p>
<p>問 3 貴方の役職をお答えください。【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】【その他の新人研修を実施していない病院】</p>
<p>役職（ ）</p>
<p>問 4 貴方もしくは貴院のメールアドレスをお答えください。【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】【そ</p>

【その他の新人研修を実施していない病院】
メールアドレス（ ）
問5 貴院の開設主体をお答えください。（単一回答）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】【その他の新人研修を実施していない病院】
1. 国立（厚生労働省、独立法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、他） 2. 公立（都道府県、市区町村） 3. 公的（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会） 4. 社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合、共済組合、国民健康保険組合） 5. 医療法人（社会医療法人は含まない） 6. その他の法人（公益法人、学校法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他の法人） 7. 個人
問6 貴院の医療機能をお答えください。（複数回答）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】【その他の新人研修を実施していない病院】
1. 高度急性期 2. 急性期 3. 回復期 4. 慢性期
問7 令和6年11月1日時点における許可病床数をお答えください。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】【その他の新人研修を実施していない病院】
全体（ ）床 一般病床（ ）床 療養病床（ ）床 精神病床（ ）床 感染症病床（ ）床 結核病床（ ）床 その他の病床（ ）床
問8 貴院の薬剤師の定員・薬剤師数（令和6年11月1日時点）を常勤・非常勤別にお答えください。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】【その他の新人研修を実施していない病院】
常勤薬剤師の定員（ ）名 非常勤薬剤師の定員（ ）名 常勤（ ）名 非常勤（ ）名
問9 新人研修を実施していない理由として該当する事項を全てお答えください。【その他の新人研修を実施していない病院】
1. 入職する新人薬剤師数が少ないため 2. 毎年新人薬剤師が入職しないため 3. 新人薬剤師を指導する薬剤師がいないため 4. 新人研修を体系的に行わなくても育成できるため 5. 新人研修を実施する人的な余裕がないため 6. その他（ ）

Ⅱ. 研修目的・ゴールについてお尋ねします

問10 貴院の薬剤師に他の病院や薬局での研修を受講させる場合に、研修目的として考えられる事項をお答えください。（複数回答） ※令和3年～5年の卒後臨床研修のモデル事業や、薬剤師臨床研修ガイドラインの内容によらずお答えください。【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1. 病院・薬局に共通する基礎的な知識・スキルを身に付けること 2. 貴院では経験できない知識・スキルを他院や薬局で身に付けること 3. 特定の病院でしか身に付けることができない医療の専門領域に関わる知識・スキルを他院で身に付けること 4. 他の病院との連携を深めること 5. 薬局との連携を深めること 6. 地域医療の課題の解決に向けた連携強化のため 7. より深い医療人マインド育成のため 8. その他（ ）

Ⅲ. 指導者の確保・育成についてお尋ねします

問 1 1	令和 3 年～5 年のモデル事業（対象に応じて変更 レジデント制度、その他の新人研修）において単年度で受けた研修員は最大何名ですか。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
()	名
問 1 2	上記人数の研修員を受け入れるために要した現場の指導する薬剤師数は何名ですか。正確な数字が分からない場合、概数をお答えください。全員の場合は数字の後に全員とご記入ください。 ※指導する薬剤師とは一時的に薬の説明や作業手順の指導を行った薬剤師ではなく、研修の全体像または研修で学ぶべきカリキュラムを理解しており、研修指導を担当する薬剤師を指す。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
()	名
問 1 3	貴院での研修で、同時期に受け入れられる研修員として現状想定されている人数は最大何名ですか。正確な数字が分からない場合、概数をお答えください。卒前の病院実習生を受け入れている場合、通常受け入れている卒前の病院実習生の人数を除いてお答えください。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
()	名
問 1 4	貴院では指導する薬剤師の人員は充足しているとお考えですか。（単一回答）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1.	十分足りている
2.	どちらかというと足りている
3.	どちらともいえない
4.	どちらかというと不足している
5.	かなり不足している

Ⅳ. 臨床研修の期間についてお尋ねします

問 1 5	薬剤師臨床研修ガイドラインでは研修期間を 1 年以上としています（オリエンテーションから病棟業務、在宅訪問までの期間）。実際に薬剤師臨床研修を実施するために必要とお考えの期間をお答えください。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
()	か月

Ⅴ. 臨床研修の受講時期についてお尋ねします

問 1 6	薬剤師臨床研修ガイドラインに基づく薬剤師臨床研修の受講時期について、貴院が研修を提供する観点から、卒後何年目の薬剤師が受講することが最も適切だとお考えですか。例えば、卒業して入職した年次に受講することが最も適切とお考えの場合、1 年目とお答えください。研修が不要と考える場合、0 年目とお答えください。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1.	就職先が決まっていない卒直後の薬剤師に対して：卒後（ ）年目
2.	病院薬剤師に対して：卒後（ ）年目
3.	薬局薬剤師に対して：卒後（ ）年目
問 1 7	薬剤師臨床研修ガイドラインに基づく薬剤師臨床研修の受講時期について、貴院の薬剤師に他の病院や薬局での研修を受講させる観点から、卒後何年目の薬剤師が受講することが最も適切だとお考えですか。例えば、卒業して入職した年次に受講することが最も適切とお考えの場合、1 年目とお答えください。研修が不要と考える場合、0 年目とお答えください。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1.	他の病院での研修を受講させる場合（病院・薬局に共通する基礎的な知識・スキルを身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目
2.	他の病院での研修を受講させる場合（貴院では経験できない知識・スキルを他院で身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目
3.	他の病院での研修を受講させる場合（特定の病院でしか身に付けることができない医療の専門領域に関わる知識・スキルを他院で身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目
4.	薬局での研修を受講させる場合（病院・薬局に共通する基礎的な知識・スキルを身に付けることを研修目的として想定した場合）：卒後（ ）年目
5.	薬局での研修を受講させる場合（貴院では経験できない知識・スキルを薬局で身に付けることを研修目的として想定した

場合)：卒後()年目
問18 医療人としての心構えや薬剤師としてのプロフェッショナリズムの醸成には、どのタイミングで臨床研修を実施するのが適切であるとお考えですか。(複数回答)【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1. 卒前 2. 卒後就職前(就職先への配属前に臨床研修期間を設けて実施) 3. 卒後就職後(就職先の基礎研修期間中に臨床研修を実施) 4. 卒後就職後数年後(就職先で1通りの業務ができるようになってから臨床研修を実施) 5. 臨床研修を実施する必要はない 6. その他()

VI. モデル事業における評価項目についてお尋ねします

問19 モデル事業として行われた臨床研修の評価において、＜研修環境＞について問題であると思う事項を全てお答えください。(複数回答)【モデル事業参加病院】
1. 臨床研修受講状況や到達度を指導薬剤師間で共有するツールがない 2. 臨床研修の評価項目をすべて満たすことは、該当する診療科がないという理由から達成が難しい 3. 臨床研修の評価項目を全て満たすことは、症例数が少ないという理由から達成が難しい 4. その他() 5. 問題と感じた事項はない
問20 モデル事業として行われた臨床研修の評価において、＜評価内容＞について問題であると思う事項を全てお答えください。(複数回答)【モデル事業参加病院】
1. 評価項目が重複している 2. 病棟業務に関わる評価項目が多い 3. 評価項目数が多いため、評価に時間を要する 4. 連携施設での臨床研修を評価する項目がない 5. 評価項目が不明確であり、指導者によって評価が異なる 6. 指導者が一人ではないため、業務ごとに評価項目が必要である 7. その他() 8. 問題と感じた事項はない

Ⅶ. 研修員の処遇についてお尋ねします

問21 他施設(病院・薬局)からの研修員の雇用形態をお答えください。(複数回答)【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1. 常勤職員 2. 非常勤職員 3. 研修施設への在籍出向 4. 研修施設への転籍 5. その他()
問22 他施設(病院・薬局)への研修員の雇用形態をお答えください。(複数回答)【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1. 常勤職員 2. 非常勤職員 3. 研修施設への在籍出向 4. 研修施設への転籍 5. その他()
問23 他施設(病院・薬局)からの研修員の賠償責任保険についてお答えください。(単一回答)【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1. 貴院の賠償責任保険に加入してもらう 2. 職能団体等が提供している賠償責任保険に個人として加入してもらう 3. 研修員に任せている 4. その他()
問24 貴院が他施設(病院・薬局)からジェネラリストを要請する目的で研修員を受け入れる際、立場を貴院の職員とする必要性を感じますか。(単一回答)【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1. はい 2. いいえ

Ⅷ. 研修の普及や効果についてお尋ねします

令和3～5年の各年度に入職した薬剤師についてお答えください。

問41	令和3年度から令和5年度のうち、モデル事業（対象者に合わせて変更 レジデント制度、その他の入職研修）を実施した年度を全てお答えください。（複数回答）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1.	令和3年度
2.	令和4年度
3.	令和5年度
問42	令和3年度に入職した薬剤師について、入職初年度にモデル事業の研修（以下の設問文や選択肢における「当該研修」も同じ意味とお考えください）を受けた薬剤師数、入職後現在に至るまで当該研修を一度も受けたことがない薬剤師数、またそれぞれの博士号取得済み薬剤師数をお答えください。 （数値入力）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
令和3年度の入職薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
うち、令和3年度に卒後臨床研修を受けた薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
うち、入職後現在に至るまで当該研修を一度も受けなかった薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
問43	令和4年度に入職した薬剤師について、入職初年度にモデル事業の研修（以下の設問文や選択肢における「当該研修」も同じ意味とお考えください）を受けた薬剤師数、入職後現在に至るまで当該研修を一度も受けたことがない薬剤師数、またそれぞれの博士号取得済み薬剤師数をお答えください。 （数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
令和4年度の入職薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
うち、令和4年度に卒後臨床研修を受けた薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
うち、入職後現在に至るまで当該研修を一度も受けなかった薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
問44	令和5年度に入職した薬剤師について、入職初年度にモデル事業の研修（以下の設問文や選択肢における「当該研修」も同じ意味とお考えください）を受けた薬剤師数、入職後現在に至るまで当該研修を一度も受けたことがない薬剤師数、またそれぞれの博士号取得済み薬剤師数をお答えください。 （数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
令和5年度の入職薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
うち、令和5年度に卒後臨床研修を受けた薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
うち、入職後現在に至るまで当該研修を一度も受けなかった薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
問45	令和6年度に入職した薬剤師について、入職初年度にモデル事業の研修（以下の設問文や選択肢における「当該研修」も同じ意味とお考えください）を受けた薬剤師数、入職後現在に至るまで当該研修を一度も受けたことがない薬剤師数、またそれぞれの博士号取得済み薬剤師数をお答えください。（数値記入）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
令和6年度の入職薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
うち、令和6年度に卒後臨床研修を受けた、もしくは受けている薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
うち、入職後現在に至るまで当該研修を一度も受けなかった薬剤師数（ ）名	
うち、博士号取得済み薬剤師数（ ）名	
問46	入職者がいる年度において卒後臨床研修を行うか否かについて、入職者がいたか否かに関わらず、令和5年度、令和6年度、令和7年度における貴院の方針を選択肢からお選びください。（単一回答）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】

1. 令和5年度（ ） 2. 令和6年度（ ） 3. 令和7年度（ ） 【選択肢】 1. 研修を行う方針 2. 研修を行わない方針
問47 令和6～7年度に初めて研修を行う方針である場合にその理由をお答えください。（複数回答）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1. 薬剤師臨床研修ガイドラインが発出されたため 2. 薬剤業務向上加算を取得するため 3. 研修が必要だと判断したため 4. その他（ ） 5. 令和5年度からすでに研修を行っている
問48 モデル事業に参加した薬剤師について、当該研修の参加前後における意欲や能力の変化としてお感じになられたことをお答えください。定量的な指標でお示しいただける変化がございましたら、定量的な変化を含めてご回答いただけますと幸いです。（自由記述）モデル事業参加病院【レジデント制度実施病院】【その他】
自由記入：
問49 患者への貢献に対するアウトカムを定量的に示すことは可能であると思いますか。（単一回答）【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
1. はい 2. いいえ 3. どちらとも言えない
問50 上記で「はい」を選択の方で、具体的な指標があればお答えください。【モデル事業参加病院】【レジデント制度実施病院】【その他】
自由記入：
問51 令和3年～5年のモデル事業で負担となったことをお答えください。【モデル事業参加病院】
自由記入：

XIII. その他についてお尋ねします。

問52 貴院で十分な指導が行えなかったと思うカリキュラムや業務項目についてお答えください。【モデル事業参加病院】
自由記入：